

TOMIX

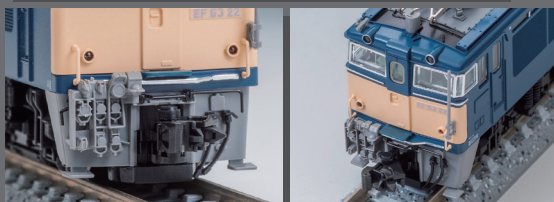
昔日の「碓氷峠」、今 再び。

“峠のシェルパ” **EF63形3次形**、
金沢運転所 **489系** “H03編成”を同時リリース!!

High
Grade **N**
GAUGE



●外ばめ式のテールライトやブロック式ナンバープレートなど、1・2次形と異なる形態を再現したモデルは、EF63形最大の特徴である軽井沢側（2エンド側）に備わる各種ジャンパ栓の内、ディーゼルカー用が省かれた3次形独自のジャンパ栓を、スカートとともに新規で製作しています。また、モーター車の軽井沢側とトレーラーの横川側に常点灯ライト基板を備え、ヘッド・テールライトは電球色LEDによって（テールライトはカラープリズムにより赤色で）点灯し、これらは「ON-OFFスイッチ」により点・消灯可能としています。

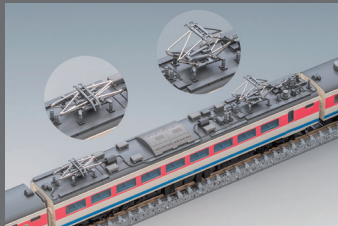


●各種ジャンパ栓とともに、軽井沢側に装備する自連・密連両用の双頭形連結器は、実感的な形態に加えて、実物通りに自連・密連が切り替えられる上、連結機能も併せ持つ双頭形TNカプラーとして再現、装着しています。これにより、「489系（金沢運転所・H03編成・白山）」との連結運転を可能とし、TNカプラーを装備しない連結相手のための交換用アーノルドカプラーと、横川側の密自連形TNカプラーに代えて使用する、連結機能が無い自連形ダミーカプラーを付属しています。

また、「碓氷峠」通過可能な本務機EF62形との交信に加え、輸送指令と横川運転区との交信も可能とした無線用Cアンテナを別パーツで付属、1・2エンド両前面に穴開け加工無しに取り付けられ、同アンテナが装備された1990（平成2）年以前にも対応可能なように、穴無しの前面パーツを用意しています。なお、細密さを求めて別パーツ化を推進したモデルには、屋根上のボックス、信号炎管、前面のステップ、手すり、スカート回りのジャンパ栓、エアホースの各パーツを付属しています（解放デコは取り付け済み）。



●タイフオンが車体側に備わる、横川側のクハ489-503（左）と軽井沢側のクハ489-3（右）は、ヘッド・テールライト、トレンマークの点灯に常点灯基板の電球色LEDを使用、カラープリズムによってテールライトは赤色で、トレンマークは白色に近い色で点灯し、いずれも「ON-OFFスイッチ」により点・消灯を選択できます。交換式のトレンマークは「白山」を装着し、「あさま」、「はくたか」、「能登」を用意、ボンネット前面の特徴シンボルマークとタイフオン、屋根上の列車無線アンテナは別パーツを付属しています。また、クハ489-503では前面に密自連TNカプラー（SP）を装着してEF63形との連結運転を可能にし、協調運転用ジャンパ栓や解放デコによって、スカート回りを実感的に見せ、クハ489-3では運転台屋根上のライトカバーが外され、ヘッドライトとボックスが斜め出しになった姿を模しています。なお両車ともに、更新工事の際に施工された、運転台窓のデジタル化されたワイパーを再現しています。



●このモデルでも交流流車の特徴であるモハ488形屋根上の機器類を作り込み、パンタグラフは前位側と後位側それぞれで、集電シュー先端のホーン形状の違いを、実車に則して再現しています。また、各車の室内シートカラーは、ページュ（クハ489-503・モハ489）、青色（クハ489-3・モハ489）、赤茶色（サロ489-27）の3色としています。なお、サロ489-27屋根上の電話アンテナは別パーツを付属しています。



EF63形（3次形・青色）セット



489系（金沢運転所・H03編成・白山）基本セット

1997（平成9）年9月30日、翌日に控えた北陸新幹線の長野開業と、軽井沢―篠ノ井間のしなの鉄道への経営移管を前に、信越本線横川―軽井沢（横軽）間がこの日、最後を迎えました。“碓氷峠”とも称される同区間は、1893（明治26）年の開通から100年以上の歴史を持ち、アプト方式から粘着運転に至るまで、その急勾配ゆえに専用の機関車が用いられてきました。中でも粘着運転開始に伴い、1963（昭和38）年から導入された専用補機のEF63形電気機関車は全25両が製造され、電車列車やディーゼル列車、客車列車や貨物列車の峠越えをサポートし、“峠のシェルパ”として同区間が廃止されるまで活躍しました。また、EF63形のバックアップを受けて、この峠を上り下りする電車の中、EF63形との協調運転可能な車両については、形式末尾に「9」の数字が付けられ、これらは信越本線を中心に運用されました。



489系（金沢運転所・H03編成・白山）増結セット

トミックスでは横軽間廃止の前年に最初のEF63形を発売、同製品は電気機関車初めてのハイグレードモデルとして、連結可能な上、リアルな形態の双頭形TNカプラーを新規に開発、採用した画期的なアイテムとなっていました。そのリリースから約30年、一部の仕様を見直した3次形（22～25号機）の同形2両セットを新たに発売いたします。モデルは「川崎重工 富士電機」のメーカーズプレートの他、各種車体標記を印刷し、車体番号の転写シートを付属します。また、動力機構にはM-13モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを採用、黒色車輪を使用しています。

この発売に合わせて、金沢運転所時代のJR西日本489系「H03編成」も併せてリリースいたします。ハイグレード仕様のモデルは、他の編成が国鉄特急色へ戻される中、白をベースにした「白山色」を最後までまとった、同編成独自の特徴を再現しました。モーター車と「ラウンジ&コンビニエンスカー」を含む5両基本セットの他、「キノコ形クーラー」を載せるモハ2ユニットから成る4両増結セット（モーター車無し）を揃え、モーター車にはM-13モーターを使用したフライホイール付き動力ユニットを搭載、各車に新集電システム、黒色車輪を採用しました。両アイテムにより、昔日の「碓氷峠」をお楽しみください。

EF63形

（3次形・青色）

489系

（金沢運転所・H03編成・白山）

■ JR EF63形電気機関車（3次形・青色）セット（2両）
＜98151＞予価¥17,380（税込）

■ JR 489系特急電車（金沢運転所・H03編成・白山）基本セット（5両）
＜98594＞予価¥28,270（税込）

■ JR 489系特急電車（金沢運転所・H03編成・白山）増結セット（4両）
＜98595＞予価¥16,720（税込）

JR東日本商品化許諾済 / JR西日本商品化許諾済

2025年2月発売予定

トミックス製品情報はトミーテックホームページで…

www.tomytec.co.jp/tomix/

※写真は試作品のため、
製品と異なる部分があり
ます。

タカラトミーグループ

株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
（株）トミーテック
お客様相談室トミックス係
TEL.03-3695-3161（代）
※月～金曜10～17時/祝・休日を除く